



式歌を覚えよう

横芝敬愛高校の卒業式では、伝統的に「仰げば尊し」を式歌として採用してきました。（一時的の歌を採用した時期もありましたが）。

この歌は1884年に発表された歌で、明治時代から平成の初期までながく卒業式で歌われてきたのですが、最近ではあまり聞かなくなりました（歌詞が古くわかりづらかったりするの）。各地の伝統校などでは今でも歌い継がれています。

1/14（月）6限の学年集合をスタートに、何度か歌唱練習の機会を持つことにしました。皆さんの卒業式を立派に行うための大切な準備です。

はじめからいきなりうまくいくとは思いませんが、少しずつ卒業式に向けて練習したいと思います。



*2011年（平成23年）に「仰げば尊し」の元曲と思われる発見されたそうです。

1871年にアメリカで発表された「Song for the Close of School」で、作詞者のブロスナンは当時学校の校長。「学校教育の終わりのための歌」や「終業式の歌」といった意味で、歌詞は教室や友人との別れをテーマにしています。アメリカ国内でもあまり知られていないこの曲の作詞者や作曲者についての詳細は依然として不明であり、今後も研究が続けられるとのこと。

教室の整理を

1/16（木）は入試会場の準備日です。今のうちに各教室の余計なものは持ち帰っておいってください。

昨年度までであれば、今頃は家庭学習期間だったので教室はほぼ空だったのですが、今年度は24（金）まで通常授業を行います。その分教室に多くの荷物があるので、必要なくなっているものや処分できるものは早めに持ち帰っておいってください。

また、間もなく家庭学習期間に入りますので、教室の使用はきれいをお願いします。

3/3（月）の卒業式には各教室良い状況で臨みたいと思います。